

つぎのページでプリントー6

ぼくはかなのきよきよたん。ぼくのおじさんはある日、空からふってきたじちそうをたべたとたん、空のぼつらっつ、じちがくいつてしまった。

ぼくは、おじさんはきつと、外のせかいへおじちと行ったにちがないと思っていた。

そんなぼくにもある日、空からじちそうでも、ミズがふってきた。

おいしそうなじちそうじ、したつみ。「JVS」パクリとぼくはかぶりした。

すると、そのとたん、ものすごい力でぼくは空へとひっぱられる。

ザバーン。ぼくは水の中からとびだした。

ぼくが見たのは、
